

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【公表番号】特表2001-503741(P2001-503741A)

【公表日】平成13年3月21日(2001.3.21)

【出願番号】特願平10-516967

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 9/72

A 6 1 K 39/35

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 37/08

【F I】

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 9/72

A 6 1 K 39/35

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月15日(2004.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年9月15日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第516967号

2. 補正をする者

名 称 ザ リージェンツ オブ ザ ユニバーシティー
 オブ カリフォルニア

3. 代理人

住 所 東京都港区虎ノ門4丁目3番20号
 神谷町MTビル19階

電話番号 03 (5425) 1800

氏 名 (9109) 弁理士 平木 祐輔



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲



6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正する。

方 式
審 査

(別紙)

請求の範囲

1. 医薬組成物を哺乳動物の皮膚又は粘膜組織に投与することを含む方法でホストのアレルギー性喘息を治療するための前記医薬組成物を製造するための、喘息誘発抗原をコードする組換え発現ベクターを含むポリヌクレオチド組成物の使用であって、前記ベクターが、喘息誘発抗原をコードするヌクレオチド配列と、非メチル化5'-CG-3' ジヌクレオチド配列を含む少なくとも6ヌクレオチド長のパリンδροーム非コード領域を含有する免疫刺激性ヌクレオチド配列とを含み、かつ、前記方法において喘息誘発抗原に対するTh1免疫反応が刺激されることを特徴とする、前記使用。
2. 前記方法において肺組織での好酸球浸潤が低減することを特徴とする、請求項1に記載の使用。
3. 前記医薬組成物がホストの気道への投与に適合化されたものである、請求項1に記載の使用。
4. 前記医薬組成物が鼻腔内投与に適合化されたものである、請求項3に記載の使用。
5. 前記医薬組成物がエアロゾル化されたものである、請求項3に記載の使用。
6. 前記ポリヌクレオチド組成物又は前記医薬組成物が、免疫刺激性ペプチドをさらに含有する、請求項1～5のいずれか1項に記載の使用。
7. 免疫刺激性ペプチドがTGF- β 、TNF- β 、IL-2、またはIFN- γ である、請求項6に記載の使用。

8. 前記のコードされた喘息誘発抗原が、IgE反応性主要チリダニ類Der pIもしくはDer pII抗原；抗原Eブタクサ花粉抗原；Der pIIのT細胞エピトープ；ホスホリパーゼA₂（蜂毒）抗原；シラカバ花粉抗原Betv1；または主要な愛玩動物であるネコの抗原Fel dIである、請求項1～7のいずれか1項に記載の使用。
9. 前記のCG配列が、少なくとも2つのプリンヌクレオチド及び少なくとも2つのピリミジンヌクレオチドと隣接している、請求項1～8のいずれか1項に記載の使用。
10. 免疫刺激性ヌクレオチド配列が配列5'-AACGTT-3'を含む、請求項9に記載の使用。
11. 免疫刺激性ヌクレオチド配列が、GACGTC、GGCGCC及びAGCGCTからなる群より選択されるヌクレオチド配列である、請求項9に記載の使用。